

畜 号 外
令和2年2月20日

一般社団法人岩手県畜産協会会長理事
一般社団法人岩手県獣医師会長
岩手県農業共済組合長理事
岩手県動物薬品器材協会長
一般社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会理事長
公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会会長理事

様

岩手県農林水産部
畜産課総括課長

熊本県における豚流行性下痢発生疑いを踏まえた防疫措置の徹底について
このことについて、農林水産省から通知がありましたので、お知らせします。
本県では、昨年度1件の発生以降続発は確認されていませんが、他県では発生が続いて
います。

については、会員等に対し、飼養衛生管理基準の遵守徹底や、異常確認時の家畜保健衛生
所への早期通報について、引き続き、注意喚起くださるようお願いいたします。



【振興・衛生担当 熊谷芳浩 TEL019-629-5729】

元消安第5287号
令和2年2月18日

岩手県農林水産部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

熊本県における豚流行性下痢の発生疑いを踏まえた防疫措置の徹底
について

平素より家畜衛生行政の推進に御理解、御協力をいただきありがとうございます。

豚流行性下痢については、「豚流行性下痢（PED）防疫マニュアル」（平成26年10月24日付け26消安第3377号農林水産省消費・安全局長通知。以下「マニュアル」という。）及び「豚流行性下痢に係る防疫措置の再徹底について」（平成31年4月22日付け農林水産省消費・安全局動物衛生課家畜防疫対策室長事務連絡）により、豚の飼養者及び養豚関係者に対する指導を実施いただいているところです。

本病は、令和元年9月以降、群馬県及び千葉県において発生が確認されておりましたが、今般、新たに熊本県においてPCR陽性事例が確認されました。発生が確認されれば、九州においては鹿児島県で発生した平成30年6月以降、1年8か月ぶりの発生となります。このため、熊本県をはじめとした九州各県においては特に感染拡大防止に取り組んでいただく必要があり、引き続き、防疫対応を徹底いただくとともに、防疫措置に係る意識の低下による本病の発生を防止するため、特に下記の事項に留意の上、豚の飼養者及び養豚関係者に対する防疫措置の再徹底について、改めて指導をお願いいたします。

また、飼養衛生管理の徹底、と畜場などの畜産関連施設での防疫措置の徹底等は、豚熱、アフリカ豚熱等の越境性動物疾病発生予防及びまん延防止対策にも有効であり、これらの対策に必要な経費の一部は、消費・安全対策交付金の利用が可能です。本交付金の積極的な御活用を併せてご検討ください。

記

1 飼養衛生管理の徹底

日頃からの飼養管理の徹底による農場への本病ウイルスの侵入防止対策が重要であることから、豚の飼養者に対して、マニュアル4の(1)の侵入防止対策について、指導すること。

2 ワクチン接種の徹底

本病の発生被害の低減を目的として、平時から継続的に母豚に対してワクチンを使用することが望ましいことから、豚の飼養者に対して、マニュアル7の(2)のワクチン使用時の留意点について十分説明するとともに、積極的なワクチン接種を促すこと。

3 早期通報の徹底

本病のまん延防止対策としては、早期通報が極めて重要であることから、豚の飼養者に対して、マニュアル3の(1)について、指導すること。

4 と畜場など畜産関係施設での防疫措置の徹底

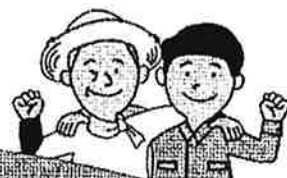
マニュアル4の(3)の②に記載された畜産関係施設における対策について、実効性ある防疫措置が講じられるよう、公衆衛生部局等の関係者とも連携し、と畜場など畜産関係施設における消毒の実施状況の確認を行うとともに、不備が認められた場合には、改善を指導すること。

飼養衛生管理基準の改正により、 農場の取組強化が必要になります！



- 畜舎ごとの専用の衣服及び靴の使用
- 畜舎等への野鳥等の侵入防止
- 衛生管理区域から搬出する物品の消毒
など

国の補正予算がある今なら・・・



消費・安全対策交付金（ソフト）
により、半額を支援できます！

農協、自衛防疫団体や、生産者がグループを作って取り組む
管理水準向上の取組を支援



動力噴霧器



防鳥ネット



飲水消毒装置



看板

その他にも、

- 簡易更衣室
- 死体保冷保管庫
- 燻蒸庫
- パスボックス

など

御要望がありましたら、各都道府県の家畜衛生部局にお問い合わせください